

栃木県社会福祉士会会報



〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 発行 一般社団法人栃木県社会福祉士会
TEL 028-600-1725 発行責任者 原田 欣宏
FAX 028-600-1730 編集責任者 福原 健治
ホームページアドレス <http://www.tochigi-csw.org/>

52号

発行日 令和元年7月30日

羅針盤



社会福祉士の魅力

NPO法人 風の詩

社会福祉士事務所「風のささやき」

代表 認定社会福祉士 永島 徹



羅針盤	1
トピック	2
福祉士おもしろのたけりレー	3
会長の視点	3
授産製品・店舗紹介	4
今日の一冊	5
ニューフェイス紹介	5
情報の広場	6
福祉士会通信	6~7
共同事務所6団体通信	8
編集後記	8

「昔この辺に桶屋さんがあってね。そこで作ってもらった盥を嫁入りに持っていったんだよ」。ある日、デイホームに集うお仲間から聞いた話です。その桶屋が私の祖父であることを伝えると、その方は、とても驚いて、「その盥でうちの息子が産湯に浸かってね、散々水遊びもして大きくなったんだよ。」と目を輝かせて話してくれました。祖父の仕事が、半世紀以上もの間、誰かの生活の思い出となって活かしていることに感動しました。

そして、改めて自分の仕事を振り返り、祖父とは違う形で、地域の中で誰かの生活にかかわっていることを再確認しました。祖父のように物を作る仕事ではありませんが、「社会福祉士」は、生活の課題に即して、支援に必要なものを創り出す仕事です。一人でできる仕事ではなく、人と人とのつながりを創っていくことで、時に自分が想像していた以上の広がりを見せる仕事でもあります。独立開業して地域での活動を始めたときには、不安で俯せにしか眠ることができませんでしたが、18年間地域の中で活動してきて、そのような社会福祉士の仕事の魅力を実感しています。

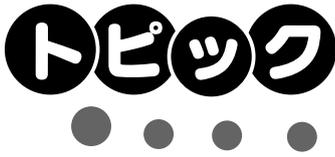
もちろん、施設や機関に所属して活動する「社会福祉士」であっても、その仕事の魅力は同じです。クリエイティブな精神を忘れずに、人と人とのつながりを丁寧に育みながら実践を積み重ねていくことで、「社会福祉士」の果たす役割はこれから益々大きくなっていくと確信しています。



風の詩のソーシャルワーカーズたちです



市民マラソンにて、認知症の人や家族の理解啓発中です



一口に社会福祉士と言っても、施設や機関に所属している人、独立開業している人、また、対象者も赤ちゃんから高齢者、現場も地域・行政・施設・病院など様々です。今回は、社会福祉士として現場で活動しているお二人に、実践の内容や魅力を語っていただきました。

魅力ある社会福祉士の実践

一般社団法人 社会福祉士事務所 にじみる

社会福祉士 高田 美保



「社会福祉士は何にでもなれる」最近ひらめいた言葉です。この20年ほどで社会福祉士のポジションが四方八方へ水紋のように広がっています。私が資格をとった平成一桁時代はせいぜい「福祉の人」くらいのイメージ。今は多様な世界からいろんな切り口で社会福祉士が求められていることに驚きです。

例えば、社会システムを作り運用する現場の人もいればそこから漏れた人を救おうとする人もシステムそのものを変えようと奔走する人もいます。教育現場、メンタルヘルス関連、司法界限など一見福祉っぽくない現場からもオファーが届きます。独立したりダブルライセンスで起業したりと新しい働き方も生まれました。活動フィールドも小地域や市町、県単位、全国規模、グローバルなど様々。社会福祉士のユニークな実践はあちらこちらで展開されています。

ソーシャルワーカーたる社会福祉士が目指すのは「人間の福利（ウェルビーイング）の増進」です。そのための方法は『ソーシャルワークの定義』に“人間

関係における問題解決”とか“人々のエンパワメントと解放を促す”とかザックリと書いてあります。「で？何やるの？」とつっこんでも「こうなさい。」なんて具体的なやり方の答えはありません（十の現場があれば十のやり方があるし）ソーシャルワーカーたる社会福祉士よ、自分の頭で考えて自分の足で行動して導き出さない。と言われていたら私は思っています。ということは、社会福祉士の羅針盤『社会福祉士の倫理綱領』をもちろん肝に命じてひとりひとりが自分なりの活動を自由に展開出来るのです。

今いる場所でも半歩踏み出しても一足飛びしても『倫理綱領』をポケットに「人間の福利（ウェルビーイング）の増進」を目指して、いろんな方向からいろんな方向へアプローチできるのが社会福祉士。自分を試され打ちのめされることもあるけど、資格を持つからこそ挑戦がはじまるおもしろい資格です。

魅力ある社会福祉士の実践

児童家庭支援センター ちゅうりっぷ 副センター長

社会福祉士 片桐 洋史



栃木県さくら市にある児童家庭支援センターちゅうりっぷで相談員を続け4年が経ちました。「児童家庭支援センター」という名前の通り、子どもや保護者の相談と家庭訪問、ショートステイ（1週間まで）において子どものケアワーク、月に1回ほど189ダイヤルの電話相談員をやっています。今でこそひっきりなしに相談が入るようになりましたが、開設した平成27年4月当初は1日通して電話も鳴らないこともありました。

メディア等で児童虐待件数が年々増加していることはご存じかもしれません。平成29年度、栃木県児童相談所が対応した児童虐待1,232件のうち、施設入所、里親委託されたのは79件（全体の6%）。残りの94%は虐待として児相がかかわっても自宅に帰されているのです。（全国でも同様の傾向です。）

ちゅうりっぷが力を入れたのはまず、子どもの一時預かり（ショートステイ等）です。在宅か施設入所かだけだった選択肢に、在宅支援を続けながら子どもを

叩いてしまうぐらいなら1週間まで子どもを預かるよ、という支援を自治体に問いかけました。この4年でショートステイ契約市町は3市→11市町に、預かり日数も延べ27日→306日となりました。子どもの預かりをやっていると、発達障害や愛着障害の子だけでなく知的障害の子の預かりに大変大きなニーズがありました。定員は限られますが、療育手帳A判定の子の預かりも始めています。記録用紙もF-SOAIP（生活支援記録法）に変更し関係機関の連携や自組織の研鑽に役立っています。

相談する保護者の方は、次回の面談予約を取っても本当に会えるかはわかりません。電話や家庭訪問で、関係性をどれだけ作れるか、アセスメントやプランニングの方法はいくつかありますが、毎回、試行錯誤です。子どもの居場所づくりを実践しながら、保護者が安心、安全を心の底から感じられるよう関係性を作る支援を続けていきたいです。

福祉士 おもいのたけリレー

県内で活躍する社会福祉士が、実践への「おもいのたけ」を語っていくコーナーです。このコーナーは、リレー方式で次の社会福祉士につないで掲載していきます。
掲載内容：①氏名(ひらがな)、②所属、③趣味、④実践へのおもいのたけ

- ①吉澤 洋介(よしざわ ようすけ)
- ②栃木県社会福祉士会
権利擁護委員会
- ③筋トレ・スポーツ観戦
- ④このコーナー初ではないかの「プー太郎」登場です。という



のは、3月に栃木市役所を退職いたしました。現職中は、障害福祉分野で地域生活支援拠点の整備、障害者差別解消条例・手話言語条例の制定等、関係者の皆様にご大変お世話になりましたこと、誌面をお借りしてお礼申し上げます。

今後は、基礎研修Ⅲを終えたので、成年後見人材育成研修の受講、精神保健福祉士の国試受験、障害者スポーツイベントのボランティア等に勤しみ、来る2020東京オリパラ大会のボランティア活動に向け準備をしております。特にシッティングバレーボールという下肢障害者のスポーツに関わりが長く、この競技の東京パラ大会運営が円滑に行えるよう微力ながらサポートしたいと考えております。2022年に

はいちご一会とちぎ大会で、国体と全国障害者スポーツ大会が栃木県で開催されます。何かやらねばと焦るばかりですが、身体と頭を鍛えて備えたいと思います。

次号は、社会福祉法人すぎのこ会の松本広子さんに繋がります。



会長の視点

市民が魅力を感じる社会福祉士

一般社団法人 栃木県社会福祉士会

会長 原田 欣宏



ここ数年考える社会福祉士の専門性とは「多機能連携型ソーシャルワーク」である。様々なニーズを持った人に対して、瞬時に相談体制を整えることができるソーシャルワーカーであることを目指して自らを磨き、仲間の専門性を理解して相互支援ネットワークを構築することが求められていることだろう。そして市民の皆さんには、生活の困りごとを相談できてよかったと感じられる社会福祉士が必要である。

現在、会員の中には事業所、機関等の組織に所属しない「独立型社会福祉士」として活躍する会員もいる。しかし、栃木県ではわずか6名であり、全国でも444人(いずれも2019年6月10日現在・日本社会福祉士会に登録済の会員)しかいない。本会としてもすそ野を広げるべく取り組んでいくべきところである。

私は、今後注目されるべき存在は所属する組織が外部の活動を認める「(仮称)副業型社会福祉士」では

ないかとみている。市民の権利擁護を第一に考える福祉関係者であれば、自らの組織だけでは多くの問題を解決できないことは身をもって理解している。組織に所属しながら外部関係者との連携と知識技術の向上に努める職員の存在は、地域に根差した支援を目指す組織にとっての得意分野を引き延ばし、それ以外の部分にも具体的な対応手段を持ち得ることにもなる。

先日、テレビで「注文を間違える料理店」をヒントに食堂を開業した人や、高齢者施設で「子ども食堂」を開業している事業所を紹介していた。私たち社会福祉士は専門性を携えて地域社会に溶け込み、いざというときに頼ってもらえるための信頼を得ることが出来るか。私たちが思う社会福祉士の魅力は市民に感じてもらう初めて生きてくる。

授産製品・店舗紹介

このコーナーでは、障害のある方々が作る授産製品や販売する店舗をご紹介します。

社会福祉法人天成会 すまいるわーく桜

【さくら農園】

住所：栃木市大平町川連277-1

電話：0282-20-0611

ユニバーサル農業が叫ばれる昨今において、農福連携が求められている。農業と福祉が連携を図ることで



農業の担い手不足の解消や福祉人材の発展に繋げ様と、利用者と共に取り組んでいる生産物の一つがいちご王国である栃木県

が誇る、「とちおとめ」の栽培。

農業ぐる一ぶの方々が、苺の苗を9月に定植してから、毎日の管理を行い12月から5月まで収穫、販売をする。



市場出荷の他、関東圏内のホテルや飲食店などにも卸す。年間収穫量は、前年度実績で6,505キロ。

ご贈答品として、喜ばれるお品物。一粒の苺から、甘酸っぱい心地よい香りとう豊富な果汁をご堪能下さい。

【GELATERIA 桜蔵】

住所：栃木市万町3-24

電話：0282-22-2000

さくら農園で摘み取った新鮮な苺。規格外等で出荷できない苺も無駄なく加工。フレッシュな状態で店舗にてディッピングし販売。

生産から販売までの六次化産業として展開。

明治初期の蔵づくりの建物をリノベーションし、栃木市中心部である蔵の街大通りに面した憩いの空間。栃木市内の散策に、お好みのフレーバーを見つけて下さい。



社会福祉法人すかい 就労支援事業所すかい

住所：日光市足尾町2084

電話：0288-93-2003

就労支援事業所すかいでは生活介護事業・就労継続支援B型事業を行っており、受託作業・花卉生産販売・パン製造販売などの作業が行われ、利用者様の笑顔が輝くように利用者様と職員で日々努力しております。受託作業では



主にボルトの袋詰めを行っており、花卉作業では季節の草花を生産しており市場出荷や、自治会・企業団体等への販売、大規模公園の受注生産等も行っています。1ポット100円からの販売です。パン製造はパン・焼き菓子の製造をしており100円から販売しております。

花卉・パンともに事前にお問い合わせください。また、つるのほねプロジェクトで日光市内に自動販売機を設置して頂き、折り紙を販売しております。



社会福祉法人すかい すかいきぬ川

住所：日光市小佐越8-2

電話：0288-25-5261

すかいきぬ川では、就労継続支援B型事業を行っており、トマト生産販売、パン製造販売、弁当販売、日光市役所売店、リサイクル作業、ホテル清掃等を行い地域との関係を大切に活動を進めております。トマト生産は、5色のトマトを生産しており見た目にも鮮やかで、近隣の売店に卸したり、市場に出荷したりしています。パンや弁当は訪問給食サービスや市役所売店での販売、予約販売を行っており地域の行事等で利用して頂いております。トマトは一袋300円、パン焼き菓子類は100円から、弁当は500円からの販売です。4月から日光市役所での売店を始めパン・弁当の販売も開始しました。ぜひお越し下さい。



今日の一冊

地域包括支援センター細谷・宝木 馬目智子

講談社『カラスの親指』 道尾 秀介 著

勉強熱心な方の多い、社会福祉士の皆さまへ私の僅かな愛読書からお勧めするのは正直難しいなと思いつつながら、本の紹介をお引き受けしました。仕事で出会った方への思いから離れられないような時に、私はよく小説を手にとります。読書は私のリフレッシュ法の一つです。

この本は、借金や家族の死などそれぞれに苦しさを抱えた登場人物が詐欺を生業として生きています。生々しい感情や生きづらさと裏腹にどこかユーモラスな一面。関わる人々との出会い。主人公が騙されていたことに気づいて、救われるという数々のしかけがとてもおもしろいミステリ小説です。読み返すと、このタイミングで〇〇に相談できていたら・・・と思う点は職業病かもしれませんね。ぜひご一読ください。



今年4月から働き始めた、エネルギー溢れる新社会福祉士をご紹介します。

ニューフェイス紹介

- ①氏名（ふりがな） ②所属（事業所名、職種）
- ③マイブーム（趣味、特技、こだわり等）
- ④社会福祉士になったきっかけと抱負

①菊地 幸哉（きくち ゆきや）
です。

②今年の4月より、医療法人 大田原厚生会 室井病院の精神保健福祉士として勤務しています。



③平成仮面ライダーシリーズの大ファンです。幼少期に出会ってからの今までどっぷり見続けております。おそらく各作品ごと2時間は語れます！

④高校3年生の春、私は進路に迷っていました。担任からは保育士を勧められていましたが、あまり腑に落ちず、時間だけが過ぎていきました。梅雨も明けるとかという時期だったのでしょうか、私はひょんなことから国際医療福祉大学のパンフレットを手に取りました。この時が、私が社会福祉士という存在を知った瞬間でした。パンフを読み進めるほど、福祉の世界に興味を湧いていったあの時の感覚を今でも覚えています。それと同時に（自分は誰かの役に立ちたいのかもしれない）という思いに気づくことができました。

「クライアントに『あなたに会えて良かった』と言われるような社会福祉士になりなさい」大学の卒業式の日、学科長が巣立つ私達に送ってくださった言葉です。心に残った言葉であると共に、そう思っていただけにはどうしたらよいのかと、今でも考えさせられる言葉でもあります。現時点で私が考えられるのは、やはりクライアントに寄り添うことなのではないかと思えます。自らの思いの表出が苦手な方には手を差し出し、思いを隠さずに表出する方ならまず一度受け止めることを大切にしたいです。

クライアントの状況をイメージし、知識や明確なビジョンをもって支援を組み立てていく先輩方がこの世界には沢山いらっしゃいます。今はまだその方々のように支援が出来なくても、クライアントとの関係を築くことに全力を尽くすことはできます。クライアントの笑顔、悲しみ、怒りなどの感情や時間に来る限り触れ、共有していきたいです。そしてそれが「この人に会えて良かった」と思っていただけのために一歩になればと思っています。

情報の広場

第27回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会に参加して

栃木県社会福祉士会 理事 福原 健治

令和元年6月1・2日に、『地域共生社会の実現を目指して』～新たな時代にしめす社会福祉士の真価～というテーマの基、つくば国際会議場で開催された茨城大会に参加して来ましたので、その雰囲気を少しだけご紹介したいと思います。

まずは、全国から993人の参加があり、その人数の多さに驚き、150名を超える茨城県社会福祉士の役員やボランティアスタッフの運営やおもてなしに感動いたしました。



開催プログラムは、開会式の後、厚生労働省社会・援護局、社会福祉専門官、道念由紀氏による講演で、「これからの社会福祉士への期待」と題して、地域共生社会の実現に向けて求められるソーシャルワーク機能について、国の動向や実践例を聞かせていただきました。

次に、兵庫県立大学環境人間学部、竹端 寛准教授による基調講演で、テーマは、「当たり前」をひっくり返すという斬新なタイトルで、関西弁ということも

あり、とても引き込まれる内容で、最初に「あなたのソーシャルワークは、ケアマネジメント？それとも生活支援？」と会場に投げかけ、会場にまで足を運び参加者とのセッション、会場からは、「制度で決められたサービスだけでは支援できないので、その方に必要なものをソーシャルアクションし生活支援している。」との答えが返ってきました。やはり、竹端准教授も国が決めた標準的な「ケアマネジメント」に「矛盾」を感じ、「標準」を「当たり前」と思ったらあかんということを伝えたかったようです。

次に、「考えよう新たな時代にしめす社会福祉士の真価」というテーマでのシンポジウムがあり、シンポジストは病院の医療ソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等4人で、それぞれの領域の中での社会福祉士としての役割や思いを聞くことが出来ました。

夜の懇親会は立食パーティーで、地元の大道芸によるガマの油売り口上の披露がありました。

二日目は、領域ごとの分科会となり、私は権利擁護・福祉経営の研究発表を聞かせていただきました。

午後は東北福祉大学の草間吉夫特任教授による記念講演で、「私が歩んできた道」と題して、生後3日目から高校卒業まで児童福祉施設で育ち、高萩市長になるまでの壮絶な人生なのに笑いを交えながらポジティブに語られたことは、とても感動的でした。

充実した二日間で、全国で活躍している社会福祉士の実践を聞くことが出来、たくさんのエネルギーを充電することが出来ました。

栃木県社会福祉士会のブロック会・委員会・PT(プロジェクトチーム)の活動を紹介する掲示板です。

福祉士会通信

- 社会福祉士の皆さま、日頃の実践の質を高めるため、福祉士同士の輪をつくるため、是非会活動に参加しましょう。福祉士以外の方におかれましては、ブロック会等で研修会等を企画しております。是非ご参加ください。
- お問い合わせは、栃木県社会福祉士会までお願いします。

権利擁護委員会(阿部和史)
県北ブロック(福原健治)

生涯学習センター(富田裕之)
広報委員会(福原健治)

社会福祉評価委員会(篠崎文男)

権利擁護委員会

阿部 和史

権利擁護委員会では、毎年、高齢者虐待対応初級研修とフォローアップ研修を行っており、先日の5月28日、29日に初級研修を行い、50名弱の市町職員と地域包括支援センター職員に参加いただきました。フォローアップ研修は11月12日を予定しています。例年に引き

続き高齢者虐待対応センターでのアドバイザー派遣を行っております。6月に派遣の依頼をいただき、弁護士会とのチームでアドバイザーを派遣させていただきました。講師派遣も依頼いただき派遣予定となっております。障害者虐待におきましても、毎年県より委託を受けて開催している、栃木県障害者虐待防止・権利

擁護研修年末年始と2回に分けて、2日ずつ行う予定となっております。障害者虐待対応センターでは、希望市町との契約し、アドバイザー派遣の依頼に待機しております。検察庁への社会福祉アドバイザーにおいては、6月に入って3件の依頼をいただき、それぞれにアドバイザーを派遣させていただいています。

権利擁護委員会に興味のある方は是非お声がけください。

生涯研修センター

富田 裕之

(研修部会) 毎月1回の委員会を開催しています。基礎研修Ⅰ(新規申込34名、繰越4名)第1回目集合研修を8/18(日)に開催します。基礎研修Ⅱ(新規申込30名、繰越2名)と基礎研修Ⅲ(新規申込10名、繰越1名)は開催中です。また、任意研修「自閉症の方への支援」を8/31(土)に開催します。隔年開催の実習指導者養成研修を11/30(土)12/1(日)の2日間実施予定です。

(調査研究部会) 現在、県民の福祉の向上に資する調査研究活動を行う準備に取り組んでいます。

(地域包括ケアシステム部会) 2ヶ月に1回委員会を開催しています。部会内での勉強会を実施しています。今年度は、地域ケア会議を学び、他職種連携の実践力を高めることをテーマに取り組んでいきます。

各部会の活動に興味のある会員の皆様、一緒になって活動したい会員の皆様は、生涯研修センターもしくは事務局までご連絡ください。

社会福祉評価委員会

篠崎 文男

社会福祉評価委員会の主な活動は、第三者評価と外部評価です。第三者評価の活動は、福祉サービス事業者の提供するサービスの質に対して、評価機関が客観的に評価する事業です。評価対象の事業所は、栃木県内の保育所、障がい者事業所、特別養護老人ホーム、児童養護施設などです。外部評価の活動は、認知症対応型共同生活介護事業者(認知症対応型グループホーム)が行う事業者に対して評価機関が客観的に評価する事業です。どちらの評価活動も事業所の欠点を指摘したり、指導するのではなく、事業所の努力・工夫している点を評価する活動を行っています。今年度の受審状況は、第三者評価が1件、外部評価が19件となっております。各事業所の信頼を得ながら評価活動を実施しております。

現在、当委員会は会員を募集しております。評価活動に興味のある方は、共同事務局にお問い合わせください。宜しくお願い致します。

県北ブロック

福原 健治

6月25日、ebass西那須野店にて県北ブロック交流会を開催いたしました。今回は3名の新合格者も参加され、国際医療福祉大学、大石准教授のコーディネートにより、「令和における社会福祉士のあり方や抱負」という難しいテーマについて、熱く楽しく語り合いました。



社会福祉士の大きな役割は、人と人をつなぐことだという意見が出ましたが、今回の交流会でも新たなつながりや仲間を増やすことが出来ました。

〜〜 次回の研修会 〜

日時：9月14日(土) 13:30~16:00

会場：TOKO-TOKOおおたわら3階・中会議室

内容：「事例検討会の進め方・深め方」について、

野中方式を活用しての実践研修

申込方法：とちぎソーシャルワーク共同事務所社会福祉士会宛にFAXまたは郵送

申込用紙は、栃木県社会福祉士会ホームページにもアップしております。

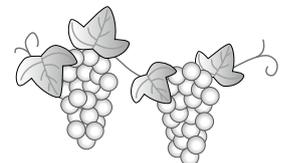
広報委員会

福原 健治

今回も、委員会の開催とメール等のやり取りで、広報誌を作成させていただきましたが、今回のメインテーマは、社会福祉士の魅力を伝えたいとのことで、現場で働く皆さんからの熱い想いを語っていただくことにしました。

そして、社会福祉士の活動内容や役割、遣り甲斐等を知っていただき、今回紹介させていただいたフレッシュな社会福祉士のように、新たに資格取得を目指し活躍してくれる方が増えればと思います。

また、ホームページやメルマガでも各委員会の活動内容や研修会の情報を配信しておりますので、ぜひご覧いただきたいと思います。



2019. 8 以降の研修、イベント情報

団 体 名	研 修 名 称	開 催 日	開 催 日	開 催 日
とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会	とちぎソーシャルケア学会	2020. 2 .29		
栃木県介護福祉士会	介護の日フェスティバル in けんちょう	2019.11. 9		
〃	サービス提供責任者初任者研修 (全3日間)	2019. 8 .18	2019. 9 . 8	2019. 9 .22
〃	サービス提供責任者フォローアップ研修 (全3日間)	2019. 8 .31	2019. 9 .15	2019.10. 6
〃	実習指導者講習会 (全4日間)	すでに実施中		
〃	介護入門研修講師養成研修	2019. 8 . 4		
〃	介護福祉士基本研修	今後開催予定(詳細未定)		
〃	障がい者支援研修	今後開催予定(詳細未定)		
〃	介護記録の書き方	今後開催予定(詳細未定)		
〃	介護技術研修	今後開催予定(詳細未定)		
〃	ファシリテーション研修	今後開催予定(詳細未定)		
〃	コーチング・プレゼンテーション等研修	今後開催予定(詳細未定)		
〃	認知症・VR 体験研修	今後開催予定(詳細未定)		
〃	福祉用具等の研修	今後開催予定(詳細未定)		
栃木県精神保健福祉士会	支援者のためのメンタルヘルス研修会(医療社会事業協会共催)	2019. 9 .21		
〃	栃木県精神衛生協会共催研修会	2019.11.24		
〃	基幹研修 I (日本精神保健福祉士協会委託事業)	2019.12. 8		
栃木県医療社会事業協会	フレッシュ研修	2019. 8 .31		
〃	支援者のためのメンタルヘルス研修会(精神保健福祉士会共催)	2019. 9 .21		
栃木県ホームヘルパー協議会	福祉用具活用での介護技術(スライディングボード・シート活用方法等)	2019. 9 . 9	2020. 2 . 3	※2日同じ内容
〃	福祉用具活用での介護技術(ヒヤリハットと安全確認トレーニング)	2019.10. 7	2020. 3 . 9	※2日同じ内容
〃	理学療法士に学ぶ脳性小児麻痺等の硬縮への介護	2019.11.11		
〃	福祉用具活用での介護技術(起きる・立つ・移乗する等)	2019.12. 9		

栃木県医療社会事業協会

総務部長・事務局 高橋 史創

当協会は、医療機関のMSW、介護老人保健施設の相談員、地域包括支援センターなどから151名の会員を有しており、毎年少しずつ会員が増えています。

平成30年度の活動は、5月に学会を開催し、当協会前会長でもあるNPO法人つみきの森の相談支援専門員である東海林吉利子氏より、障害者を支援する現状に触れて頂き、地域全体のコーディネーターとしての役割や視点についてご講話頂きました。

また、研修としては、6月に会員・非会員を対象とし、中堅研修では東京福祉大学の中里哲也氏をお招きし、「ソーシャルワークアセスメント」についての研修会を開催。9月には3日間の初任者研修を開催し20名の会員が参加しています。毎年恒例となっている学生対象研修会も開催しました。

当協会は県北・県央・県南の3ブロックに分かれて各地域での活動も行っており、定期的なブロック活動や各ブロック主催の研修も行い、ソーシャルワーカー同士の繋がりや研鑽を行っています。

今年度は栃木県精神保健福祉士会や当事者団体である栃木障がいフォーラムと共同での研修会開催も予定されており、他団体との連携も図っていきます。

一般社団法人栃木県介護福祉士会 会長 岩原 真

2019年度も3分の1が経過しようとしています。総会で承認を頂きました研修会等を進めているところです。

日本の少子高齢化の進展による現役世代の減少は特に大きな課題でもあり、国民生活を支える社会保障制度のあり方も、公助・共助中心から自助・互助による新たな支え方に転換し、担い手を創出することが必要とされています。会では、介護入門研修における講師養成講習会なども企画しています。

様々な人材確保が進められていく中、介護職リーダーグループのリーダーとしての役割が求められているのが介護福祉士です。介護福祉士の資格取得方法も一元化され、認定介護福祉士養成研修も実施されています。中核的役割を担う介護福祉士の資質向上に向けたより一層の取り組みが求められているところです。

編集後記

ここ数年、御朱印ブームが起きています。平成から令和になった時もういふんと話題になりました。今年の3月に伊勢神宮参りをしたのをきっかけに、私も御朱印帳を購入しました。太宰府天満宮、宗像大社、明治神宮とめぐり先日は久しぶりに浅草寺に行ってきました。浅草寺では御朱印集めに対しての苦言が御朱印に挟まれた薄紙に書いてありましたが、きっかけは何であれ若い人達が日本の神社仏閣に触れるのはいい事なんじゃないかと私は思います。

社会福祉士会も、皆様に愛され、お役に立てる存在として、魅力ある活動をして参りたいと思います。
坂本

【会報についてのご意見や投稿を募集しております！】

取り上げて欲しい内容や会報の感想、また掲載し欲しい投稿をお寄せください。

ご意見や投稿は、「会報の意見」とタイトルをつけて、事務局FAX(028-600-1730)でお送りください。差し支えなければ氏名、連絡先をご記入ください。匿名でも結構です。

皆さまの貴重なご意見を会報作りの参考にさせていただきます。